第10回
看護実践連携研究会
研修会＆発表会

看護で地元を創成しよう！

報告書

■ 日時　2023　11/25　（土）
　　9：00～12:00（8：45～受付開始）

■ 場所　千葉科学大学 マリーナキャンパス
　　看護学部棟　6201教室

巻　頭　言

第10回看護実践連携研究会＆発表会によせて

　みなさま、第10回看護実践連携研究会に参加していただき、誠にありがとうございます。
看護実践連携研究会は、千葉科学大学看護学部と千葉県北東地区・茨城県南東地区の関係機関ならびに実習施設が連携し、看護実践と教育の向上を目的に発足されました。2019年に突然始まったコロナ禍においても開催を継続させるため、オンラインとオンデマンド視聴の方法を取り入れるなどの工夫を重ねていただきました。記念すべき第10回目の開催は対面開催となり、改めまして千葉科学大学の諸先生方のご尽力により、この日を迎えられたことに感謝いたします。
　新型コロナの爪痕が残る臨床現場において、医師の働き方改革の施行が迫り、タスクシフト・シェアの推進や業務の効率化に向けた検討が行われています。当地域では、人口減少を肌で感じながら、光熱費や食材費の高騰も病院や施設の経営を直撃しており、看護を取り巻く環境も変化しています。その変化に対応するため、新たな発想が必要であると考えます。
　本日の研修会は、東京都立大学　健康福祉部　学部長　西村ユミ教授をお迎えし、「地元創成看護学とは」をテーマにご講演を賜ります。また、発表会では、それぞれの施設の課題解決にむけた取り組みや、学業の中で新たな課題を発見しさらなる研究において深めてゆく活動について、共有できると思います。
　本日の学びを看護実践に活かし、さらに発展していくことを期待しております。どうぞよろしくお願いいたします。

地方独立行法人さんむ医療センター
看護部長　井上純子

巻　頭　言

第10回看護実践連携研究会＆発表会によせて

晩秋の候、皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。皆様には本学部の教育・研究に多大なご協力をいただき深く感謝申し上げます。

今年の夏は世界的な異常気象で災害ともいえる暑さとなりました。11月まで真夏日があったかと思うと、ここ数日は急激に寒くなり、予備力、免疫力の低い療養者の皆様の体調悪化が懸念される日々かと思います。

また、ロシアによるウクライナ侵攻が集結しないうちに、中東でも戦争がはじまりました。
多くの子どもたちが犠牲になっているという悲しいニュースに命を守り育てる看護職として、とても胸が痛みます。現地の人々の安全で平穏な暮らしが早く戻ることを祈ります。

さて、第10回の看護実践連携研究会では「地元創成看護学とは」をテーマに東京都立大学の西村教授によるご講演を予定しています。日本学術会議のホームページには地元創成看護学とは「地元(home community)の人々(population)の健康と生活に寄与することを目的として、社会との協働により、地元の自律的で持続的な創成に寄与する看護学」と書かれています。私の専門領域は公衆衛生看護学です。自治体の保健師として、地域の看護ニーズを把握し、地域住民や関係機関とともに保健活動に取り組んでまいりました。本日の講演をとても楽しみにしています。

後半の研究報告では本学の研究科修了生の修士論文の報告と、現場の看護職の研究が2本あります。働きながら、実践現場で感じた課題を解決しようと研究に取り組んだ成果を皆さんと共有したいと思います。教員の研究報告では、それぞれの教員の専門分野での知見が学べると期待しています。演題３は学部の4年生が卒業研究で取り組んだ演題の報告です。学生が実習中に関心をもった疑問を研究の種として、訪問看護ステーションの看護師さんにインタビューを行い、素晴らしい語りを得て、四苦八苦しながら分析を行いました。在宅看取りを望む療養者や家族が増えている今、とても重要なテーマだと思います。

参加者の皆様の積極的な質疑応答、意見交換によりさらに研究会が実り多いものになることを祈念して挨拶といたします。

令和5年11月25日
千葉科学大学看護学部
学部長　安藤　智子

目次

目次 .....
プログラム 1
研修会＆発表会 当日の様子 3
研修会＆発表会 当日の様子 4
講演　「地元創成看護学とは」 5
研究報告 6
参加者アンケート集計結果　 7
ご案内施設一覧 11
看護実践連携研究会　役員名簿 14
看護実践連携研究会　企画委員・実行委員 15
看護実践連携研究会のあゆみ 16
看護実践連携研究会　申し合せ 19

プログラム

時　間	内　容
9：00 ～ 9：05	オリエンテーション 司会：千葉科学大学　看護学部 准教授　久木元 理恵
9：05 ～ 9：10	開会の挨拶 さんむ医療センター　看護部長　井上純子
9：10 ～ 10：30	講演　「地元創成看護学とは」 講師　東京都立大学 健康福祉学部 学部長　西村ユミ
10：30 ～ 10：40	休憩

研究報告

10：40～10：50

演題1.　看護専門学校教員のワーク・エンゲイジメントに影響する要因

所属　香取おみがわ医療センター附属看護専門学校

〇渡辺篤史

10：50～11：00

演題2.　看護専門学校の教員が学生と関わることで得る成長感の分析

所属　千葉科学大学看護学部

〇宮口恵美子

11：00～11：10

演題3.　在宅がん患者のACPにおける患者の意思の変化に対する看護師の支援内容

所属　千葉科学大学看護学部4年

〇川手元清

11：10～11：20

演題4.　看護基礎教育における新たな筋肉内注射部位に関する実態調査

所属　千葉科学大学看護学部

〇石田直江　高橋方子　冨樫千秋

11：20～11：30

演題5.　眼科患者へ行う点眼指導・退院指導方法の統一に向けた取り組み

所属　さんむ医療センター

〇湯浅天子　竹内綾霞

11：30～11：40

演題6．人工呼吸器装着療養者を支える介護職の災害発生直後の対応行動の実態 ~介護職へのインタビュー調査よる分析~

所属　総合病院　国保旭中央病院

〇佐藤紀世乃　國方由紀子　八馬弘美

11：40～11：50

演題7．令和元年台風15号の被災病院におけるDMATの支援と引き継ぎを受けた看護師の認識

所属　千葉科学大学　看護学部

〇本庄貴志

座長：千葉科学大学　看護学部
教授　高橋方子

11：50 ～ 12：00　　閉会の挨拶

千葉科学大学　看護学部学部長　安藤智子

研修会＆発表会 当日の様子

千葉科学大学マリーナ・キャンパス

開会の挨拶

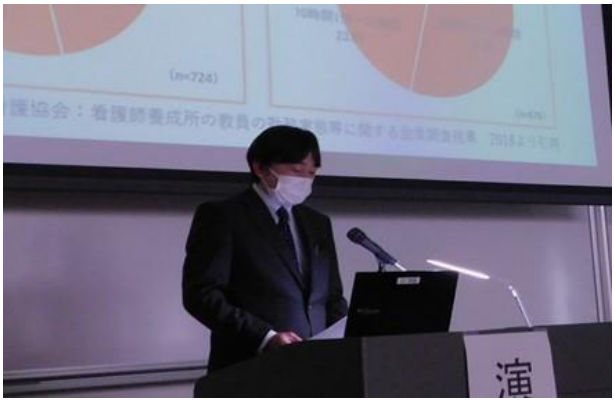
西村ユミ先生ご講演

会場の様子

研究報告

研究報告

研修会＆発表会 当日の様子



研究報告

研究報告

質疑応答

質疑応答

司会進行

閉会の挨拶

講演

地元創成看護学とは

講師

東京都立大学 健康福祉学部

学部長　西村ユミ

西村先生の御紹介

西村先生は、日本赤十字看護大学をご卒業され、その後女子栄養大学大学院修士課程に進学し保健学研究科 臨床生理学を専攻され修士（保健学）の学位を取得されています。さらに日本赤十字看護大学 看護学研究科博士後期課程 基礎看護学に進まれ、「遷延性植物状態患者の看護ケアの意味-対話・記述・解釈による現象学的接近-」をテーマとして博士の学位を取得されています。

先生のご著書である「語りかける身体 看護ケアの現象学」は、多くの看護師が手に取り、看護実践の奥行きの深さに気づかされた方が多いことと存じます。

その後も精力的に研究活動や講演を行い、看護実践の知を探求されておいでになられます。また日本学術会議、健康・生活科学委員会の構成メンバーとしてもご活躍され、看護学分科会として、令和2年には「地元創成」の実現に向けた看護学と社会の協働の推進について提言を発出されています。

研究報告

座長：千葉科学大学看護学部　教授

高橋 方子

1　看護専門学校教員のワーク・エンゲイジメントに影響する要因

香取おみがわ医療センター附属看護専門学校

〇渡辺篤史

2　看護専門学校の教員が学生と関わることで得る成長感の分析

千葉科学大学看護学部

〇宮口恵美子

3　在宅がん患者の ACP における患者の意思の変化に対する看護師の支援内容

千葉科学大学看護学部４年

〇川手元清

4　看護基礎教育における新たな筋肉内注射部位に関する実態調査

千葉科学大学看護学部

〇石田直江　高橋方子　冨樫千秋

5　眼科患者へ行う点眼指導・退院指導方法の統一に向けた取り組み

さんむ医療センター

〇湯浅天子　竹内綾霞

6　人工呼吸器装着療養者を支える介護職の災害発生直後の対応行動の実態
~介護職へのインタビュー調査よる分析~

総合病院　国保旭中央病院

〇佐藤紀世乃　國方由紀子　八馬弘美

7　令和元年台風 15 号の被災病院における DMAT の支援と引き継ぎを受けた看護師の認識

千葉科学大学　看護学部

〇本庄貴志

参加者アンケート集計結果

●一般参加者アンケート結果（回収数 16）

職業について

	人	%
看護師	5	31.25
保健師	0	0
助産師	0	0
養護教諭	0	0
教員	10	62.5
その他	1	6.25

勤務先住所

	人	%
銚子市	9	56.25
神栖市	1	6.25
香取市	1	6.25
山武市	3	18.75
無回答	2	12.5

申し込み方法（QRコード）は適切でしたか。

	人	%
とてもそう思う	11	68.8
そう思う	2	12.5
どちらとも言えない	3	18.8
そう思わない		0
全くそう思わない		0
無回答		0

開催方法（来場型のみ）は適切でしたか。

	人	%
とてもそう思う	11	68.8
そう思う	2	12.5
どちらとも言えない	3	18.8
そう思わない		0
全くそう思わない		0
無回答		0

開催時期は適切でしたか

	人	%
とてもそう思う	8	50.0
そう思う	8	50.0
どちらとも言えない		0
そう思わない		0
全くそう思わない		0
無回答		0

資料は見やすいものでしたか

	人	%
とてもそう思う	9	56.3
そう思う	5	31.3
どちらとも言えない	2	12.5
そう思わない		0
全くそう思わない		0
無回答		0

講演の時間は妥当でしたか

	人	%
とてもそう思う	12	75.0
そう思う	4	25.0
どちらとも言えない		0.0
そう思わない		0.0
全くそう思わない		0.0
無回答		0

講演は学びを得ることのできる内容でしたか

	人	%
とてもそう思う	12	75.0
そう思う	4	25.0
どちらとも言えない		0.0
そう思わない		0.0
全くそう思わない		0.0
無回答		0

発表の時間は妥当でしたか

	人	%
とてもそう思う	11	68.8
そう思う	5	31.3
どちらとも言えない		0.0
そう思わない		0.0
全くそう思わない		0.0
無回答		0

発表は学びを得ることのできる内容でしたか

	人	%
とてもそう思う	11	68.8
そう思う	5	31.3
どちらとも言えない		0.0
そう思わない		0.0
全くそう思わない		0.0
無回答		0

この会はご満足のいただける内容でしたか

	人	%
とてもそう思う	12	75.0
そう思う	4	25.0
どちらとも言えない		0.0
そう思わない		0.0
全くそう思わない		0.0
無回答		0

【講演の感想・質問】

・来場型なので講師は来るように思われていたとおもいました。動画の録画であったので、事前アナウンスがあったほうがよかったと思いました。出来れば来場型ならば講師は登壇していただけるとよいと思いました。

・講演会の質疑応答で、学生の立場での質問に学生さんが自分達のこととして反応しておりとてもよかったと思いました。

・看護と言えば臨床看護をイメージしていた時代から地元創成看護学という新しい言葉を知ることができ視野が広がった。

・地元創成看護学が日本学術会議看護分化会から発出された経緯から提言まで順序だてた内容が構成されており納得することができた。

・発出や実装など普段聞き慣れない言葉にも触れることができた。

・地元の意味が良く理解できました。地元創生看護学についてはまだ良くわからないところが多いので、調べてみたいと思います。

・地元創成看護学が求められる背景から構築のために必要となる要素、様々な分野がそれぞれどのような働きかけができるのかについて理解を深めることができました。

・これからの地方の大学が力をつけていくためにも重要だと思います。それぞれの地元には特性があり、一つとして同じ地元!ないのですからそれを掘り起こしてテーマにしていくことで大学と地域の活性化に繋がりいろいろなメリットが生まれると思います。背中を押していただいたような気持ちになりました。

・「銚子学」を学んでみたくなりました。

【この会に参加してよかったところ】

・看護を通じた地元創生の意義を知ることができた。私自身、高校の教諭として今後の進路指導に活かすことのできる内容であった。

・西村先生の講演が現代のニーズにマッチしていて大変参考になった。

・対面での会だったので、集中できた。

・地域の関係者からの発表を聞くことで、地域現状知ることができた。

・地元創成看護学を初めて学べました。地域の看護職の方にお会いでき、顔がわかりよかったです。

・1 年生で奨学金をもらっている旭中央病院と香取小見川医療センターの方に学生とご挨拶できました。

・講演会では日本学術会議で検討されている最近の看護学の知識を得ることができた。

・看護学生が研究発表をされたり熱心に質問しており看護大学らしさを実感できた。

・様々な分野の研究発表を聞くことができた。

・企画、運営、内容、参加者の行動など、全て良かったです

・講演や研究発表により実態や今後必要な対策について理解を深めることができました。

・元気になりました!大学のあり方について答えを見つけられた気がします！

・学生さん達からも積極的に質問があり、学習意欲の高さを感じました。

【この会で改善してほしいところ】

・一般参加が少なかった。行政の実習施設や訪問看護にも周知しましたが参加がなかったので、声かけしたり、周知の工夫が必要だと反省しました。

・会場参加だけでなく、オンラインでの参加も出来ると、もっと参加率が上がったのではないかと思います。

【今後取り上げてほしいテーマの希望・ご意見・ご感想】

・研究に関すること

・この地域の看護職の人材育成、継続教育などの取り組み、人材確保の取り組みなど

・実習を含む大学の教育内容について施設と共有できるような内容。効果的な実習のあり方や共有（大学と施設）のしかたについて考えられるようなテーマを希望します。

・対面であったため、顔の見える関係が作れてとても良いと思いました。

・しばらくぶりの対面研究会で運営は大変なことだったと想像いたします。スムーズに実施なさっていて、委員会の皆さまの緻密で丁寧なご準備があったからこそと思っております。

●学生アンケート結果（回収数 23）

学年について

	人	%
大学1年生	22	95.7
大学2年生		0
大学3年生		0
大学4年生	1	4.3

開催時期は適切でしたか

	人	%
とてもそう思う	12	52.2
そう思う	10	43.5
どちらとも言えない	1	4.3
そう思わない		0.0
全くそう思わない		0.0
無回答		0

申し込み方法（QRコード）は適切でしたか

	人	%
とてもそう思う	12	52.2
そう思う	8	34.8
どちらとも言えない	3	13.0
そう思わない		0.0
全くそう思わない		0.0
無回答		0

開催方法（来場型のみ）は適切でしたか

	人	%
とてもそう思う	12	52.2
そう思う	9	39.1
どちらとも言えない	2	8.7
そう思わない		0.0
全くそう思わない		0.0
無回答		0

資料は見やすいものでしたか

	人	%
とてもそう思う	13	56.5
そう思う	9	39.1
どちらとも言えない	1	4.3
そう思わない		0.0
全くそう思わない		0.0
無回答		0

講演の時間は妥当でしたか

	人	%
とてもそう思う	13	56.5
そう思う	8	34.8
どちらとも言えない	2	8.7
そう思わない		0.0
全くそう思わない		0.0
無回答		0

講演は学びを得ることのできる内容でしたか

	人	%
とてもそう思う	15	65.2
そう思う	7	30.4
どちらとも言えない	1	4.3
そう思わない		0.0
全くそう思わない		0.0
無回答		0

発表の時間は妥当でしたか

	人	%
とてもそう思う	14	60.9
そう思う	7	30.4
どちらとも言えない	2	8.7
そう思わない		0.0
全くそう思わない		0.0
無回答		0

発表は学びを得ることのできる内容でしたか

	人	%
とてもそう思う	16	69.6
そう思う	6	26.1
どちらとも言えない	1	4.3
そう思わない		0.0
全くそう思わない		0.0
無回答		0

この会はご満足のいただける内容でしたか

	人	%
とてもそう思う	14	60.9
そう思う	9	39.1
どちらとも言えない		0.0
そう思わない		0.0
全くそう思わない		0.0
無回答		0

【講演の感想】

・西村先生と７名の方の研究報告を視聴し看護における多くの学びを得ることができた。

・「地域創生看護学」についての公演や、研究会での様々な医療に対する目的、定義、考察、結論と述べておりとても分かりやすく、こらから看護を学んでいく上で、この公演で得た知識を頭においていきたいと感じました。

・色々な看護師としてのあり方や、今自分たちが学んでいることの参考になるお話が聞けました。

・資料や司会がとてもスムーズでよかった

・本学でのカリキュラムでも地域の方々との交流は多く、これまでもやってきたことを改めて専門的な視点で知ることができ

ました。

・銚子学といった地域や地域住人の暮らしについて学ぶ科目がありますが、私は地域に寄り添う看護とはどのように選択するべきかというふうに考えていました。ですが、ご講演によって地域創生について学び考え方が変わりました。これからの自分の看護についてもっと考えたいです。

【質問】

・地元と協働する基盤と発展に向けた提案の看護系大学に対しての部分で、「地元が気づいていないニーズの掘り起こし」とあったのですが、私の中でうまくイメージが出来ませんでした。もし、実際にあった事例や東京都立大学で行なっていることがありましたらご教示いただけますでしょうか。

【この会に参加してよかったところ】

・災害やパンデミック、在宅など様々な観点の講演を視聴できてよかった。
・医療には様々な目的があり、幅広い知識を得られることができ参加してよかったです。
・色々な看護師としてのあり方や、今自分たちが学んでいることの参考になるお話が聞けました。
・知らなかったことを知れてよかった。
・まだ大学 1 年生ですが、分からない専門用語だったり、今の医療の現状だったり学ぶことが多かったです。
・臨床看護師、大学教諭などさまざまな発表を聞き、広い視点での学びになりました。
・様々な分野から看護について考える機会ができてとても勉強になった。

【この会で改善してほしいところ】

・マイクの音量が少し小さかったです。いつも授業ではピンマイクを使っているのでそちらの方が良いと思います。

【今後取り上げてほしいテーマの希望・ご意見・ご感想】

・災害医療についてもっと知りたいです。
・学生ながら発表を経験させていただきありがとうございました。臨床の看護師さんや先生方の視点から新たな学びがありました。
　またこの場で発表させていただいたこともとても良い経験になりました。

ご案内施設一覧

区分	番号	施設名
病院	1	地方独立行政法人　総合病院　国保旭中央病院
	2	社会福祉法人恩賜財団済生会　神栖済生会病院
	3	社会福祉法人恩賜財団済生会 済生会訪問看護ステーションかみす
	4	社会福祉法人白十字会　白十字総合病院
	5	医療法人社団善仁会　小山記念病院
	6	社会福祉法人　ロザリオの聖母会　海上寮療養所
	7	地方独立行政法人　さんむ医療センター
	8	地方独立行政法人　東金九十九里地域医療センター 東千葉メディカルセンター
	9	聖隷福祉事業団　聖隷佐倉市民病院
	10	香取おみがわ医療センター
	11	一般財団法人　銚子市医療公社　銚子市立病院
	12	医療法人積仁会 島田総合病院
	13	島田訪問看護ステーション
	14	国保匝瑳市民病院
	15	匝瑳市訪問看護ステーションつばきの里
	16	千葉県立佐原病院
	17	国保多古中央病院
	18	横芝光町立東陽病院医療連携室
保健所・保健センター	1	銚子市役所 健康づくり課、高齢者福祉課
	2	東庄町　保健福祉総合センター
	3	香取市　健康づくり課
	4	旭市　健康管理課、高齢者福祉課
	5	匝瑳市　健康管理課
	6	神栖市　健康増進課
	7	潮来市　かすみ保健福祉センター

区分	番号	施設名
	8	銚子市東部地域包括支援センター
	9	銚子市中央地域包括支援センター
	10	銚子市西部地域包括支援センター
	11	海匝健康福祉センター
	12	横芝光町健康こども課
看護専門学校	1	香取おみがわ医療センター附属看護専門学校
大学	1	千葉科学大学看護学部
	2	千葉科学大学大学院看護学研究科
学校	1	銚子特別支援学校
	2	銚子商業高等学校全日制/定時制
	3	銚子高等学校
	4	波崎高等学校
	5	佐原白楊高等学校
	6	東総工業高等学校
	7	小見川高等学校
	8	匝瑳高等学校全日制/定時制
	9	多古高等学校
	10	松尾高等学校
	11	佐原高等学校全日制/定時制
	12	旭農業高等学校
	13	成東高等学校
	14	敬愛大学八日市場高等学校
	15	横芝敬愛高等学校
	16	千葉萌陽高等学校
	17	冨里高等学校
	18	市立銚子高等学校
	19	四街道高等学校

区分	番号	施設名
	20	東金高等学校全日制/定時制
	21	鹿島高等学校
	22	柳川高等学校
	23	神栖高等学校
	24	第一中学校
	25	第二中学校
	26	第三中学校
	27	銚子西中学校
	28	銚子中学校
	29	船橋市立二宮中学校
	30	八日市場小学校
	31	清水小学校
	32	飯沼小学校
	33	明神小学校
	34	本城小学校
	35	春日小学校
	36	高神小学校
	37	海上小学校
	38	船木小学校
	39	椎柴小学校
	40	豊里小学校
	41	双葉小学校
	42	白子町立関小学校
	43	八千代市立大和田南小学校

*病院：17、保健所・保健センター：11、看護専門学校：1、大学：2、学校：43　　計 74施設

看護実践連携研究会　役員名簿

氏　名	所　属　・　役　職
秋葉 由美	地方独立行政法人 総合病院 国保旭中央病院・看護局長補佐
吉田 千賀子	社会福祉法人恩賜財団済生会 神栖済生会病院・看護部長
岩間 由起子	医療法人社団善仁会 小山記念病院・看護部長
井上 純子　（会長）	地方独立行政法人　さんむ医療センター・看護部長
加藤 早苗	医療法人積仁会　島田総合病院　看護部長
堀越 佳代	国保多古中央病院・総看護師長
山田 紀美代	銚子市健康づくり課・保健事業室長
谷川 秀子	社会福祉法人白十字会　白十字総合病院・副看護部長
安藤 智子	学校法人加計学園 千葉科学大学・看護学部長
梶原 睦子	学校法人加計学園 千葉科学大学大学院・看護学研究科長

（順不同・敬称略）

看護実践連携研究会　企画委員・実行委員

領域	職位	氏名	備考
広域看護学	教授・看護学部長	安藤 智子	役員
成人看護学	教授	梶原 睦子	役員
基盤看護学	教授・看護学科長	冨樫 千秋	実行委員
成人看護学	教授	梅田 君枝	実行委員
基盤看護学	教授	高橋 方子	実行委員・企画委員長
老年看護学	教授	長島 緑	実行委員
精神看護学	教授	渡辺 浩美	実行委員
母性看護学	教授	岩尾　侑充子	実行委員
成人看護学	准教授	上杉　英生	実行委員・企画委員
小児看護学	准教授	久木元　理恵	実行委員・企画委員
広域看護学	准教授	松岡　由美子	実行委員
老年看護学	准教授	五月女　ひろみ	実行委員
基盤看護学	准教授	鈴木　康宏	実行委員
母性看護学	准教授	平石　皆子	実行委員
広域看護学	講師	大塚　朱美	実行委員
広域看護学	講師	髙橋　玲子	実行委員
小児看護学	講師	髙木　典子	実行委員
成人看護学	講師	本庄　貴志	実行委員
広域看護学	講師	土屋　裕子	実行委員・企画委員
基盤看護学	助教	石田　直江	実行委員・企画委員
成人看護学	助教	森下　恵美	実行委員・企画委員
成人看護学	助教	伊原　利枝	実行委員
基盤看護学	助教	宮口　恵美子	実行委員
小児看護学	助教	水戸　恵	実行委員
精神看護学	助手	鈴木　絵里加	実行委員
成人看護学	助手	菅谷　亜希子	実行委員
基盤看護学	助手	吉野　真夢	実行委員・企画委員
老年看護学	助手	矢内　秀治	実行委員

（順不同・敬称略）

看護実践連携研究会のあゆみ

■ 平成 26（2014）年度		
平成 26 年 10 月 23 日 ～12 月 9 日	インタビュー調査の実施 千葉科学大学看護学部が千葉県北東地区・茨城県南東地区ならびに実習施設看護管理者を対象に、病院看護管理者、行政保健師、養護教諭の実践活動の向上に向けての取り組みとその課題のインタビュー調査実施	
平成 27 年 1 月 31 日	第 1 回発表会・看護実践連携会発足 千葉科学大学看護学部において、インタビュー調査報告会を実施（第 1 回発表会） 同日、看護実践連携研究会発足	
■ 平成 27（2015）年度		
平成 27 年 5 月 23 日	第 1 回研修会 テーマ「看護実践のエビデンスを抽出しよう」	参加者 86 名 内）一般：67 名 教員：19 名
平成 27 年 8 月 1 日	第 2 回研修会 テーマ「看護実践のエビデンスを抽出しよう」	神栖済生会病院 看護職対象
平成 27 年 11 月 28 日	第 2 回発表会 テーマ「看護実践のエビデンスを共有しよう」	参加者 205 名 内）一般：94 名 学生：86 名 教員：19 名 他： 6 名
■ 平成 28（2016）年度		
平成 28 年 5 月 26 日	第 3 回研修会 テーマ「論文クリティークを学ぼう」	参加者 88 名 内）一般：56 名 教員：32 名
平成 28 年 11 月 26 日	第 3 回発表会 テーマ「看護実践と研究の関係を実感しよう」 【共同研究発表演題数 17 題】	参加者 174 名 内）一般：87 名 来賓： 3 名 学生：55 名 教員：29 名

■　平成 29（2017）年度		
平成 29 年 5 月 13 日	第 4 回研修会 テーマ「実践現場における研究倫理」	参加者 170 名 内）一般：58 名 学生：80 名 教員：32 名
平成 29 年 11 月 25 日	第 4 回発表会 テーマ「看護実践の知を共有しよう！」 レクチャー「院内デイケア」 【共同研究発表演題数 13 題】	参加者名 152 名 内）一般：46 名 来賓：　4 名 学生：73 名 教員：29 名
■　平成 30（2018）年度		
平成 30 年 5 月 26 日	第 5 回研修会 テーマ「質問紙調査の基礎～アンケートの作り方」 個別相談申込 10 件（うち、当日相談 8 件）	参加者：138 名 内）一般：72 名 学生：36 名 教員：30 名
平成 30 年 11 月 24 日	第 5 回発表会 テーマ「地域をつなぐ看護の力！」 シンポジウムテーマ 「地域包括ケアを実践しての現状と課題」 シンポジスト 4 名、【発表演題 9 題】	参加者：137 名 内）一般：42 名 来賓：　3 名 学生：62 名 教員：30 名
■　令和元（2019）年度		
令和元年 5 月 25 日	第 6 回研修会 テーマ「研究目的の設定と調査・分析の進め方」	参加者：91 名 内）一般：54 名 学生：　9 名 教員：28 名
令和元年 11 月 23 日	第 6 回発表会 テーマ「超高齢社会を支える看護の挑戦」 シンポジウムテーマ 「地域で支える認知症」 シンポジスト 2 名、【発表演題 9 題】	参加者：142 名 内）来賓：　3 名 一般：42 名 学生：67 名 教員：30 名

■ 令和2（2020）年度		
令和2年　11月28日	第7回研修会＆発表会　オンライン開催 テーマ「看護研究のスキルを高める」 講師：千葉科学大学大学院 看護学研究科 教授　市原真穂氏 【発表演題3題】	オンライン：50 アクセス 会場：20 名
■ 令和3（2021）年度		
令和３年　11月27日	第８回研修会＆発表会　オンライン開催 テーマ「Let's 看護研究　看護研究の基本を学ぼう！」 講師：東京慈恵会医科大学　医学部看護学科 教授　谷津裕子氏 【発表演題６題】	オンライン：49 アクセス 会場：26名
■ 令和４（2022）年度		
令和４年 11 月 26 日	第９回研修会＆発表会 テーマ「看護実践の『もやもや』を解き明かそう！」 講師：上智大学　総合人間科学部 看護学科長　教授　草柳浩子氏 【発表演題７題】	オンライン：84 アクセス 会場：32 名
■ 令和５（2023）年度		
令和５年 11 月 25 日	第 10 回研修会＆発表会 テーマ「看護で地元を創成しよう！」 講師：東京都立大学 健康福祉学部 学部長　西村ユミ氏 【発表演題７題】	参加者数：88 名 内）一般：24 名 学生：44 名 教員：20 名
■ 令和６（2024）年度		
令和６年 11 月 23 日		

看護実践連携研究会　申し合せ

＜目的＞

千葉科学大学看護学部と千葉県北東地区・茨城県南東地区の関係機関ならびに実習施設が対等の立場で連携し、看護実践及び看護学教育の質向上に向けての研究、研修会ならびに研究発表会を実施する。

＜組織＞

1. 当該研究会は千葉科学大学看護学部教員ならびに前述の地域関係機関の保健師・助産師・看護師・養護教諭・看護教員等を会員として組織する。
2. 会員は施設会員と個人会員の2種類とする。
3. この研究会は役員会と委員会をおくものとする。
4. 役員会は看護実践連携研究会の運営に関する事項を担う。
5. 役員会は前項の職種代表者数名、委員会によって構成する。
6. 役員会には会長1名、副会長3名を置く。
7. 会長・副会長は、役員会のメンバーの互選によって選出する。
8. 委員会は千葉科学大学教員で構成する。
9. 委員会は委員長1名、委員を数名置く。
10. 委員会は役員会より付託された事項に関し、企画・運営をする。
11. 委員会は共同研究に関して学部内担当者を調整する。

＜任期＞

役員・会長・副会長、委員長・委員、会計監査の任期は2年とし、欠員が生じた時の補充者の任期は前任者の残任期間とする。

＜総会＞

年に1回総会を開催する。

＜役員会＞

年１回役員会を開催する。また会長が必要とした場合、臨時役員会を開催する。

＜研修会＞

研修会は看護の課題を解決するための手法や専門的知識や技術を習得することを目的として毎年1回開催し、報告書の発刊により周知をはかる。

＜発表会＞

発表会は地域の看護実践、看護学教育の質向上と地域の連携のための情報交換を目的として毎年1回開催する。大学と地域関係機関との連携による研究成果は、発表会を持って公表し、報告書の発刊により周知をはかる。

＜所掌事項＞

1. 看護実践・看護学教育の質の向上に向けて大学と地域関係機関との共同研究、共同研究成果発表会・研修会の開催、報告書の発刊
2. 看護実践・看護学教育の質の向上に関わる啓発活動
3. 運営上必要な人事・予算に関すること

附則

本申し合せは平成28年5月21日から施行する。

本申し合せは平成30年11月24日から施行する。

本申し合せは2023年11月25日から施行する。

令和5(2023)年度　第10回看護実践連携研究会研修会&発表会報告書
2024年 2月
発行　千葉科学大学看護学部　看護実践連携研究会委員会
〒288-0025　千葉県銚子市潮見町 15 番地8